

大分県 作業療法士連盟NEWS



Try! 明日への挑戦

おがた五千石マラソンに挑戦する藤華医療技術専門学校、作業療法学科の学生と応援する友人たち

【CONTENTS】

- ◆衆議院議員選挙2024 選挙応援 …P2
- ◆議員意見交換会 …P3
- ◆第1回制度マイスター養成研修 …P4
- ◆第2回・3回制度マイスター養成研修 …P5
- ◆こんなところに作業療法士・他 …P6
- ◆教えて！政治のあれこれ …P7
- ◆ミ二統一地方選挙イヤー・他 …P8

発行：大分県作業療法士連盟

TEL：090-1360-8662

H P：<http://www.oita-otrenmei.com/>

Mail：ooitaotrenmei@yahoo.co.jp



大分2区(投開票：令和6年10月27日)

広瀬 建氏 祝当選！

衆議院議員選挙大分2区では、無所属の広瀬建氏が激戦を制し、初当選を果たしました。自らのルーツである日田市を中心に、経済や地方の活性化、少子化対策に取り組むと訴えました。

広瀬氏は前大分県知事・広瀬勝貞氏の次男で、25年間勤務した神戸製鋼所からの転身を決め出馬しました。多くの海外勤務経験から、強い日本の産業の再生が必要と強い想いがあります。大分県作業療法士連盟と、今年6月に意見交換会を行い、高齢者の自立支援の発想や障害者就労等に想いを共有しました。

国会議員として、県民の代表として多くの重責ではありますが、今後の活躍に期待しています。

初当選、おめでとうございます！



広瀬 建氏



荒木会長から推薦状を交付。



個人演説会へ参加。
会員へ広報



各地域での会場に幟を掲げ参加。

候補の父親である前大分県知事「広瀬勝貞」氏とのショット。共に応援を行いました。

ひろせ けん
広瀬 建
10月16日(水)
活動予定
九重町 JA飯田 9時30分～
筋湯温泉 10時00分～
八鹿酒造 11時00分～
玖珠町 13時00分～
その他活動状況はSNSでUPします。ぜひ拡散お願いします！
皆さまとお会いできるのを楽しみにしています！
本日も宜しくお願ひします



SNS
を
配
信
選
挙
情
報

SNSの選挙活動

SNSは有権者にとって、欠かせない情報源です。インターネットに公開された内容が、投票の「決め手」としている人も多いようです。我々は、選挙期間中、応援候補者の個人演説などの活動状況や訴えを、連盟会員や関係者・知人・友人にLive配信することを心掛けました。今後も、SNSで候補者の考えを配信して投票参考に来るようにしていきます。

大分1区(投開票：令和6年10月27日)

衛藤 博昭氏



今後のご活躍に期待しています

新人候補者として、「暮らしを守り、未来を切り拓く」と力強く訴えました。「将来に不安を持って生活をしている人たちの声に耳を傾けて、未来に希望が持てる政策を実現する」と公約を訴えました。

その考えに共感し積極的に応援活動を行いました。残念ながら落選という結果になりました。

応援していただいた会員の皆様へ感謝いたします。

今後も衛藤氏の政治活動に期待します。



衛藤氏の国政に対する想いは変わらない!! 次のチャレンジに期待！

広瀬 建氏(衆議院議員)

開催日：令和6年6月11日

開催場所：大分県作業療法協会ビル

衆議院解散総選挙を控え、大分県作業療法協会ビルにて意見交換会を実施しました。出馬に至る経緯や政策等を聞き、意見交換しました。広瀬氏は父親が前大分県知事の広瀬勝貞氏であり、県政において今までの我々作業療法士の「健康寿命を延ばす」取り組みについて感銘を受けていました。

製鋼所社員時代、米国勤務していた時に今の日本の経済等の現状を見て、「日本は世界の潮流から取り残され活力がない。政治の現状を見直さなければ」と強く思ったそうです。

昨年10月に同社を退職し、地元日田市を中心に活動されています。経済安全保障や産業の振興等を訴えています。しかし、まずは「保育サービスの充実などの育児環境づくり」と「オンリーワンの地域づくり」を一番の公約としています。

これからの活躍、期待しています！



作業療法に関する話を、ひとつひとつ丁寧にメモを取られていました。

衛藤 延洋氏(大分市議会議員)

開催日：令和6年9月13日 開催場所：大分県作業療法協会ビル

衛藤氏は、7月に「地域政党おおいた」を立ち上げました。「大分のことは大分で考え、大分で決める。市民が主役の政治(地域主権型社会)の実現を目指す」と結党宣言について話されました。

【地域政党おおいた】

代表は衛藤氏であり、別府市議の塩手悠太氏(大分県作業療法士連盟応援議員)が幹事長を務めています。「地方分権一括法」も施行され地方行政の権限が大きくなっています。地域政党の活動は、非常に重要と感じます。地方政治は、我々市民が創っていくものです。

今後の地方政党の動きを注目して、情報を会員の皆様に伝えます。



普段は温厚な衛藤氏ですが、「地域政党おおいた。」の基本理念を熱く訴えました。

岩川 義枝氏(大分市議会議員)

開催日：令和6年9月9日 開催場所：大分県作業療法協会ビル

岩川市議会議員とは初出馬の際から連携し、定期的に意見交換会や施設見学など積極的に行っています。岩川氏は、行政機関で働く作業療法士の現状を資料としてまとめるなど我々の現状を自ら調べるなど積極的です。

岩川氏は大分市議会で、3歳児健診における作業療法士の必要性を要望しました。大分市内の検診において作業療法士の関わりがまばらな状況を踏まえての発言です。また、5歳児健診の実施の重要性を語り、発達障害の特徴のある児の支援など作業療法士の必要性を自身の経験を踏まえながら発言していました。この内容は、大分市議会だよりにも掲載されています。

今後も積極的に意見交換会を行っていきます。



足立信也 大分市長 講演会 大分県作業療法士連盟・大分県作業療法協会 合同企画

開催日時：令和6年8月18日(日) 10:00~11:30
開催場所：全労済ソレイユ 3階 牡丹
講師：足立信也氏(大分市長)

one team OITA ~令和6年度 医療・介護政策~

令和6年度、診療報酬及び介護報酬、並びに障害福祉サービス等報酬の改定が行われ、より具体的な地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取り組みがなされる重要な年です。
そこで、この度、『one team OITA』を掲げ、精力的に活動されている足立信也 大分市長に、近年の報酬改定内容を踏まえ、大分市の医療・介護政策を中心に今後の動向について講演いただきました。
具体的な、大分市の取り組む医療の地域情報連携充実・ICT活用等を具体的にお聞きしました。



講演中の足立大分市長

【参加者から】

作業療法士はもとより、県内の市議会議員も参加していました。講演では、人口構造が変化し給付と負担のバランスの維持が難しくなっている状況の中、最優先のテーマは「少子化対策」と「地域包括ケアシステム」の構築ということでした。地域包括ケアシステムの「医療」「住まい」「介護」「生活支援」「予防」という5つの構成要素が一体的に提供されることで、要支援者になっても住み慣れた地域で自分らしく生活することができるそうです。

※図1：地域包括ケアシステムのイメージ

私たち作業療法士は地域医療福祉の専門家であるために、地域包括ケアシステムの深化・推進に更に携わることが求められていると感じられました。

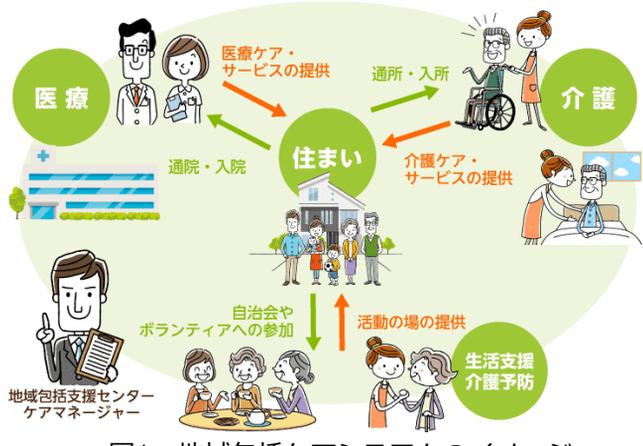


図1 地域包括ケアシステムのイメージ



左上：大分県作業療法協会会長 高森氏
左下：大分県作業療法士連盟会長 荒木氏
右上：大分市議会議員 衛藤 延洋氏(左側)
右下：臼杵市議会議員 大塚 州章氏(後方)



伝達講習会

テーマ：作業療法に関わる令和6年度報酬改定の概要
講師：木村 友彦氏(大分県作業療法士連盟 調査部長)



講師の木村氏

令和6年度の診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等の報酬の改定の概要を解説しました。当日の資料は連盟HPのトップページにあります。
【参加者から】
広い分野のため、資料の量は膨大でした。資料作成お疲れさまでした。それぞれの分野で関わっている領域は精通しているものの、それ以外の領域に対してはその場では理解できないことも多くありました。しかし、今後の社会保障全体の方針とあり方を学ぶことが出来ました。

当日の資料は、HPトップペー右下のアイコンからダウンロードできます。

第2回制度マイスター養成研修 基礎編(令和6年)

政治に働きかける有用性 (日本作業療法士連盟の歩み)

開催日：令和6年10月16日(水) 19:30～21:00
開催方法：On Demand(Zoom)
講師：二神 雅一氏(日本作業療法士連盟 副会長)

【参加者から】

経営者として制度に働きかけた経験について聞くことが出来ました。制度制定のルートはあるものの非常に難しく、行政だけでなく、同時に政治に働きかけることが重要であると改めて認識しました。

「日本作業療法士議員連盟」を活動状況報告の中で、作業療法の現状を伝え、改善要望を国会へ提出するためにも「作業療法士連盟の活動を啓発」し「作業療法士連盟の仲間を増やす」必要を語られました。

また、(一社)日本作業療法協会が政治活動を行い、連盟が選挙活動運動を行うこと等、協会活動と連盟活動の連携の重要性が理解出来ました。

「作業療法士自身の政界進出も必要だが、作業療法士を理解し応援してもらえる政治家を養成し増やすことが大事」との言葉が強く残りました。



【二神 雅一氏の紹介】

愛知県出身。精神科病院で勤務し、その後民間企業で訪問リハビリに取り組み。1996年に(株)創心會を創業し、岡山県を中心に訪問・通所・入所サービスを36拠点75事業所(2021年4月時点)をもつ。

政治に関する基礎(大分県作業療法士連盟の歩み)

講師：釘宮 慎太郎氏(大分県作業療法士連盟 副会長)



【参加者から】

前半は、政治についての基礎をイメージ図を使って、わかりやすく具体的な説明がありました。後半は、日本作業療法士連盟と主に大分県作業療法士連盟の歩みについての話でした。「日本作業療法士連盟があれば、県単位の政治連盟の必要性はないのでは？」という疑問に、「地域で行われている作業療法の望む目標を実現するには、地方政治に働きかけることで、生活に直結する条例等の制定につながる」と力説され、強く共感を受けました。

第3回制度マイスター養成研修 基礎編(令和6年)

地域共生社会における作業療法士の取るべき行動 ～作業療法士の力を地域で活かす～

開催日：令和6年12月10日(火) 19:30～21:00
開催方法：On Demand(Zoom)
講師：篠原 美穂氏(大分県作業療法協会 副会長)

【参加者から】

今回は住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていくという地域共生社会の中で、作業療法士がどのように力を発揮していくかという研修会でした。地域共生社会実現に向けた制度の動向や取り組みを推進するための市町村の動き、そして、それらに対して作業療法士がどのように関わることができるかということを示唆してもらいました。作業療法士が地域の一員になるために、まずは所属施設、居住している市町村の事業を把握することは大切なことだと感じました。

「作業療法士という共通の力を連結させるには」

- ▶自分が関われる領域やその仲間を増やし、自分が関われない領域は応援する
- ▶やっていること・やったことを表現すること



【篠原 美穂氏の紹介】

杵築市立山香病院 作業療法士長。回復期・生活期のリハビリテーションに長年従事し、排泄リハビリテーションの実践・研究にも携わっている。認定作業療法士。



「制度マイスター養成研修」今からでも**オンデマンド**受講できます。



作業療法士として(専門職として)、『職能』『学術』『政治』の理解を深めた「制度マイスター」を育成することを目的としています。基礎編(全3回)応用編(全3回)を開催しています。現在2期生を募集中です。

今からでも上記研修会をオンデマンドで受講できます。制度マイスター研修会受講申し込みを行ってください。詳しくは、当連盟のホームページをご覧ください。

開催日：令和6年11月25日(月) 19:00~20:00
開催場所：コンパルホール400会議室
講師：田中まさし氏(参議院議員・理学療法士)



大分県理学療法士協会・大分県理学療法士連盟共催、大分県作業療法協会・大分県言語聴覚士協会・大分県作業療法士連盟後援により、理学療法士であり参議院議員の田中まさし氏に国政報告及びこれからのリハビリテーションについて「リハビリテーションの未来について」研修会を開催しました。

【参加者から】

県内70名のリハ職及び関係者が集まり、熱い熱気に包まれていました。「リハビリテーションについて考える議員連盟」の要望活動や(一社)日本作業療法士協会や日本作業療法士連盟との協働した活動を理解出来ました。

特に、リハ職の処遇改善について「リハビリテーション業界が今後活性化するためにもリハ職の賃上げは最重要事項である」と力強く訴えられていました。これらの課題を立法機関に訴えかける最適な条件としての以下の4つの項目は非常に納得させられるものでした。



「リハ3職種へのメッセージ」を連盟HPで見ることができます

- ①作業療法士自身が訴えること ※これには団体の組織率が重要
- ②代弁者として、組織代表議員がいること
- ③上記の訴えを支持する議員が多数いること
- ④行政が判断、決定しやすい状況にすること

左から順に
 大分県言語聴覚士協会会長 木村 暢夫氏
 大分県作業療法協会会長 高森 聖人
 参議院議員・理学療法士 田中 まさし氏
 大分県理学療法士協会会長 市川 泰朗氏
 大分県作業療法士連盟会長 荒木 良夫



こんなところに作業療法士

松田 正平氏(ホームヘルプセンター ももたろう)

作業療法で生まれ育った地域に恩返しをしたい



「豊後大野市清川町の福祉施設でホームヘルプ業務を行っている作業療法士」松田さんにインタビューしました。施設は清川町の自然豊かな山あいにある地域に根差した施設です。



利用者の話に傾聴

NPO法人 オーバーは、出生したばかりの乳児から高齢者や障がい者に対して、地域に密着した介護保険・障害福祉事業を幅広く展開されています。また、子ども食堂(ももたろう食堂※下写真)だけでなくシルバー食堂も定期的に開催されています。地域に無くてはならない施設であると感じました。

松田氏は病院勤務をしていましたが、数年前、法人設立者の父親の右腕になるために帰って来たそうです。その理由を、「自分が生まれ育ったこの地域の人たちに何か恩返しが出来たかったから」と目を輝かせて言われていました。「私はホームヘルパーとして配置されていますが、やっていることは作業療法ですよ」と笑顔で言われたのは、とても説得力のある頼もしい言葉でした。

【松田 正平氏の紹介】

豊後大野市清川町出身。藤華医療技術専門学校卒業後、明和記念病院に入職。医療での4年間の経験後、障がい者のホームヘルプ事業に携わる。

【NPO法人 オーバー概要】

| | |
|---|---|
| 設立：平成15年6月 所在地：豊後大野市清川町868 理事長：松田 正人 理念：住み慣れた地域で、その人らしさを大切に、ゆっくり・じっくり・しっかりと一瞬一瞬によりそい、安心してらせるようお手伝いいたします。 | 施設： ➢ グループホーム ➢ 小規模多機能型 居宅介護施設 ➢ ホームヘルプセンター ➢ ファミリーホーム ➢ こども食堂 他 |
|---|---|



笑顔でお出迎え



ももたろう食堂

リハ議連の「リハビリテーション専門職の処遇改善活動」について、ご存じですか？

リハビリテーションを考える議員連盟

財務省は、2024年度診療報酬改定で「本体」部分の改定率+0.88%とし、そのうち0.61%を看護職員・リハビリ専門職などの医療関係職種への賃上げ措置に充てることを決定しました。この制度は、どのようにしてできたかご存じでしょうか？

今回、タイトルに上げた「リハ議連(リハビリテーションを考える議員連盟)」がまさしくその実現に尽力されたました。リハ議連とは、我が国におけるリハビリテーションのあり方を考えることを目的として、平成 25 年 11 月、都道府県理学療法士会から推薦された自民党所属衆議院議員が集まって発足したものです。現在、参加国会議員数は160名以上に達しており、直近に開催された第10回総会の活発な議論からも、リハビリテーション専門職に関わる課題に対する国会議員の関心の高まりが感じられます。



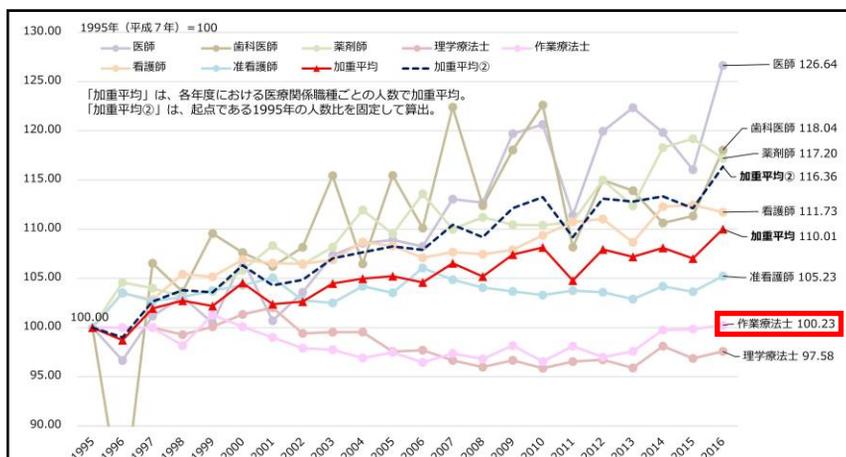
参議院議員
田中まさし氏

(大分県作業療法士連盟の幹事も定期的にリハ議連の総会に参加しています。)

田中氏は、事務局次長に就任され活動しています。「リハ職の離職率が高まっていることの原因の一つに給与の低さが関係している」「リハ職の減少はこれからの日本の医療・介護・福祉の現場において重大な喪失を招く」と訴え日々奮闘し、前述したリハビリ職種の賃上げを実現しました。私たちの仕事や生活を守り向上させていくには田中氏の国政での活躍は必要です。

参議院議員の田中まさし氏の活動を応援しましょう！

リハ職の給与が20年間変わっていない！？



医療関係職種の給与は左の表を見ても緩やかに上昇しています。特に医師、歯科医師、薬剤師の給与水準の伸びが大きいです。それに比べて作業療法士等のリハビリ専門職は20年間ほとんど変わっていません。介護報酬改定に向けた審議会において、日本理学療法士協会、日本作業療法士協会、日本言語聴覚士協会は連名で、「リハ専門職の給与は20年変化がなく、他職種と比べ伸び率に大きな差が生じている。処遇の低下は優秀な人材の流出を招き、リハビリの質の低下につながりかねない」と問題を提起していました。

財政制度分科会(平成29年10月25日)の資料より抜粋

2024年度診療報酬改定にリハ議連はどのように働きかけたのか？

リハ議連は令和5年5月30日、リハビリテーション専門職である理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の給与水準の引き上げ等について加藤勝信厚生労働大臣(当時)に要望しました。要望の内容は以下の通りです。

<要望内容：概要>

1. 産業界の給与水準引き上げと同様のリハ専門職の給与水準の引き上げ
2. 給与水準引き上げのためトリプル改定を異次元の改定率に
3. 公定価格引き上げによる増収が給与に反映される仕組み作り
4. 急性期リハにおける人員配置や訪問リハの提供体制を強化
5. 保健所、地域包括支援センター、子育て世代包括支援センター、児童発達支援センター等へのリハ専門職の配置
6. 卒後研修修了者など質の高いリハ専門職に対する処遇改善
7. リハ専門職の労働環境改善



大臣に要望書を提出する田中まさし氏

要望の結果 **決定**

令和6年1月16日に行われた定例閣議で令和6年度社会保障関係予算が決定されました。その中の「令和6年度診療報酬・薬価等改定」で『**看護職員、リハビリ専門職等の医療関係職種の賃上げ+0.61%**』と明記され、医療従事者の賃上げにリハビリ専門職と具体的に明確にされたことはとても大きな出来事でした。



大臣への申し入れに参加されたリハ議連の23名の国会議員の方々

大分市男女共同参画センターを訪問しました

木山 千枝(大分県作業療法士連盟副会長)



参加した岩川氏(左から2番目)

6月2日、大分市議会議員の岩川義枝氏と大分市のコンパルホール内にある大分市男女共同参画センター（愛称「たびねす」）に見学に行ってきました。同センターは「女性と男性が互いに助け合い、人権を尊重しながら、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会実現のお手伝いをするための、誰もが集える施設」で、この日も学生や小さい子どもとその母親数名が利用していました。事業内容は研修・啓発、相互交流や人材育成、情報収集・発信、相談等です。センター内の至る所にジェンダー川柳や家事分担の実態調査等、興味深いものばかりが掲示していました。

世界における日本のジェンダーギャップの順位は146ヶ国中118位だそうです。男女共同参画について作業療法士が何度か講演をしているそうで、これからも引き続き作業療法士に協力してもらいたいとの要望があり、作業療法の活躍の場の広がりを感じさせられました。

部員からのコメント

松本 海星(広報部)

政治ってやっぱり難しいですが

私は連盟活動始める前は政治に関して無関心でした。政治に対してわからないということから理解しようという姿勢が全くありませんでした。この無知な状況からこの活動を始め、最近では政治のニュースがあると「少し見てみようかな」と思ったり、選挙時には立候補者のパンフレットを開いて見るようになりました。正直、今も難しく感じることもありますが、ちょっとした政治家の一言が印象に残ったりするなど、以前に比べると政治に関して興味を持つようになりました。最近の選挙では若い世代の投票率の低さが話題になっていますが、やはり政治のことは難しいからという理由で投票に行かない人が多いと思います。政治全てに興味を持つことは難しいかもしれませんが、少しでも関心を持ったなら選挙に行ってほしいです。立候補者が日本のため、各自治体のために一生懸命選挙活動されていることに対して、私たちができることは選挙に行くことです。今後も私たちは政治活動に興味を持ってもらえるような連盟活動を行っていきます！



松本海星
杵築市立山香病院

2025年は三二統一地方選挙・参議院議員選挙イヤー

大分県作業療法士連盟は作業療法(リハビリテーション)への理解と期待度を高く持たれている議員を全力で応援します！
以下に議員の方々を紹介します。※日付けは選挙の投開票日です。

大分市議会議員選挙 令和7年2月16日

藤田 敬治氏 衛藤 延洋氏 岩川 義枝氏



当選：6回
自由民主党



当選：2回
無所属



当選：1回
Oita市民クラブ

竹田市長選挙 令和7年4月13日

土居 昌弘氏



当選：1回
無所属

参議院議員選挙 令和7年7月

田中まさし氏
(理学療法士)
当選：1回
自由民主党



『リハ職の声を国政に届ける』ために！
リハ職が応援していきましょう！

豊後大野市議会 議員選挙 令和7年4月13日

佐藤 昭生氏



当選：1回
無所属

佐伯市議会 議員選挙 令和7年4月13日

富松 万平氏



当選：2回
無所属

由布市議会 議員選挙 未定

加藤 幸雄氏



当選：3回
無所属



田中まさし公式LINE
『友だち追加』をお願いします！